

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
(平成30年6月解析分)

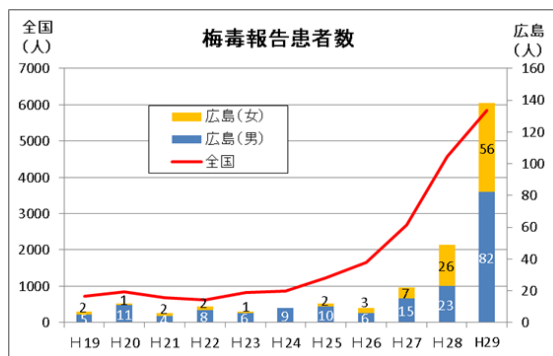
1 今月のトピックス ～ 梅毒 ～

■ 県立保健所で梅毒検査を開始 !! (平成30年7月から)

近年、性行為などで感染する梅毒の患者が全国的に急増しています。本県では、平成29年の患者報告数が138件となり、現行の集計となった11年以降で初めて100件を上回りました。

梅毒は早期に治療をすれば完治しますが、放置して進行すると脳や心臓に合併症を引き起こすだけでなく、妊娠中に感染すると、胎児に感染し、死産や奇形につながる恐れがあるため、早期発見・早期治療が大切です。

そこで、広島県では、平成30年7月から、県立保健所(支所)において梅毒検査を開始します。



広島県 梅毒検査

検索

■ 梅毒とは？

【病原体】梅毒トレポネーマ

【感染経路】感染部位と粘膜や皮膚の直接の接触 (主に性的接触)

【予防方法】コンドームの使用 (ただし、コンドームが覆わない部分の皮膚などで、感染の可能性あり)

【症状】

感染後3週間

- ・感染部位 (陰部、口唇部、肛門等) のしこり
- ・鼠径部のリンパ節腫脹



感染後3か月

- ・手のひら、足の裏、体全体の発疹 (パラ疹)、乾癬



感染後数年

- ・皮膚や筋肉、骨などにゴムのような腫瘍
- ・心臓、血管、脳などの複数の臓器の病変

(写真提供) 一般社団法人日本性感染症学会

■ 県立保健所 (支所) における梅毒検査 (要予約, 無料, 匿名, 即日)

【検査概要】

- ・TP法 (イムノクロマト法) を用いた血液検査。HIV検査と同時実施
- ・採血後、約1時間程度で結果が判明

【検査を受ける時期】

- ・正確な判定のためには、感染の可能性のあった日から3か月を経過している必要があります。

【結果が陽性の場合】

- ・医療機関を御紹介します。詳しい検査を医療機関で受けてください。
- ・なお、過去に梅毒の感染歴・治療歴がある場合はTP法では陽性と判定されます。医療機関で検査を受けて、治療が必要か否か、診断していただくことが必要となります。

梅毒検査の予約、会場及び日程の詳細は、[広島県のホームページ「梅毒検査について」](#)をご覧ください。

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

平成30年5月分(平成30年5月7日～平成30年6月3日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	97	0.21	0.51	↓	10	ヘルパンギーナ	116	0.40	0.33	↑
2	RSウイルス感染症	65	0.23	0.14	↘	11	流行性耳下腺炎	40	0.14	0.59	↗
3	咽頭結膜熱	244	0.85	0.91	↗	12	急性出血性結膜炎	2	0.03	0.01	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	662	2.30	2.65	↗	13	流行性角結膜炎	99	1.30	0.77	↘
5	感染性胃腸炎	2,137	7.42	7.41	→	14	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
6	水痘	79	0.27	0.67	↗	15	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.02	
7	手足口病	216	0.75	0.88	↑	16	マイコプラズマ肺炎	3	0.04	0.15	
8	伝染性紅斑	8	0.03	0.15		17	クラミジア肺炎	1	0.01	0.01	
9	突発性発しん	132	0.46	0.49	↘	18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	19	0.23	—	↓

(2) 定点把握(月報)五類感染症

平成30年5月分(5月1日～5月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
19	性器クラミジア感染症	65	2.83	2.39	↗	23	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	56	2.67	3.81	↘
20	性器ヘルペスウイルス感染症	13	0.57	0.79	↘	24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	7	0.33	0.68	
21	尖圭コンジローマ	14	0.61	0.58	↘	25	薬剤耐性緑膿菌感染症	1	0.05	0.02	
22	淋菌感染症	15	0.65	0.98	↗						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

※ 感染性胃腸炎(ロタウイルス)は、平成25年10月14日から届出対象となったため、過去5年平均データはありません。

発生記号(前月と比較)

急増減疾患!! (定点当たり前月比2倍以上増減)	急増減	↑	↓	1:2以上の増減
○急増疾患 手足口病 (0.11 → 0.75)	増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
ヘルパンギーナ (0.12 → 0.40)	微増減	↘	↗	1:1.1～1.5の増減
○急減疾患 インフルエンザ (0.89 → 0.21)	横ばい	→		ほとんど増減なし
感染性胃腸炎(ロタウイルス) (1.14 → 0.23)				

定点把握対象の五類感染症(週報対象18疾患, 月報対象7疾患)について、県内178の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～11	12, 13	19～22	14～18, 23～25	
定点数	43	72	19	23	21	178

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況 【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	27	結核(27)〔西部保健所(7), 西部東保健所(1), 東部保健所(3), 北部保健所(1), 広島市保健所(10), 呉市保健所(1), 福山市保健所(4)〕
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症(2)〔西部東保健所(1), 福山市保健所(1)〕
四類	23	A型肝炎(1)〔広島市保健所(1)〕, デング熱(2)〔広島市保健所(1), 呉市保健所(1)〕, レジオネラ症(15)〔西部保健所(1), 西部東保健所(1), 東部保健所(3), 広島市保健所(7), 呉市保健所(2), 福山市保健所(1)〕, 日本紅斑熱(5)〔東部保健所(1), 広島市保健所(1), 福山市保健所(3)〕
五類	87	アメーバ赤痢(5)〔西部保健所(2), 広島市保健所(3)〕, ウイルス性肝炎(E型, A型を除く)(1)〔西部保健所(1)〕, カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(4)〔広島市保健所(1), 呉市保健所(3)〕, クロイツフェルト・ヤコブ病(2)〔東部保健所(1), 広島市保健所(1)〕, 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(4)〔広島市保健所(4)〕, 後天性免疫不全症候群(2)〔福山市保健所(2)〕, 侵襲性インフルエンザ菌感染症(1)〔広島市保健所(1)〕, 侵襲性肺炎球菌感染症(4)〔西部保健所(1), 東部保健所(1), 広島市保健所(2)〕, 水痘(入院例)(1)〔東部保健所(1)〕, 播種性クリプトコックス症(1)〔西部保健所(1)〕, 梅毒(14)〔西部東保健所(1), 広島市保健所(9), 呉市保健所(2), 福山市保健所(2)〕, 百日咳(48)〔西部東保健所(33), 広島市保健所(5), 呉市保健所(3), 福山市保健所(7)〕